



(1) 概要

- ジャラゾン難民キャンプは、**第一次中東戦争後の1949年に設置されたパレスチナ難民キャンプ**。ラマッラ北方7km地点に位置。当初4~5千人だった人口が、**現在約1万7千人に増加**（2023年UNRWA登録ベース。注：実際の居住人口は8~9千人と推計）。
- 同キャンプの**南東部には入植地ベイト・エルが接して**おり、入植地の拡大により、キャンプ住民とイスラエル治安部隊との衝突が度々発生。
- キャンプ内にはUNRWA学校3校と保健センター1施設が設置。



(2) 我が国による同キャンプに関する支援

- キャンプの**住民参加と社会包摶**を重視した**生活改善計画の策定・実施を支援**を通じ、**住民のコミュニティ運営・管理能力**を高め、**パレスチナの国づくりを現場から支えるボトムアップ型の取組事例**。
- 2016年から、JICAがパレスチナ解放機構・難民問題局（PLO-DoRA）と連携し、**キャンプにおける生活改善**に向けた**技術協力**を実施中。日本人専門家の派遣等を通じ、キャンプ改善計画の策定・実施を支援。
- また、**無償資金協力**により、上記計画に沿った**小規模インフラ整備**（キャンプ内公共施設、道路、医療施設、電力設備等の整備・改修）や**機材供与**（廃棄物回収関連機材等）を実施。



キャンプ全体写真（UNRWA）



キャンプ改善計画について議論する住民



研修の様子



障害児と通常発達児のケア施設（視察先）